

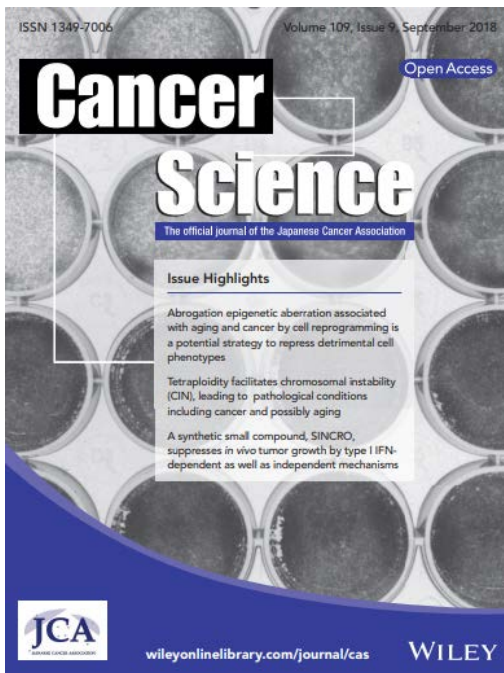
Cancer Science

The official journal of the Japanese Cancer Association



Cancer Science モーニングレクチャー

若手研究者が魅力的な英語論文を書くためのヒント



高橋 雅英

Editor, *Cancer Science*

名古屋大学大学院医学系研究科
分子病理学分野

I have nothing to disclose as COI related to this presentation.

英語で論文を書く（1）

幸いなことに、科学論文を書くのに、
難解で高尚な英語の表現力は必要ない！

論文で多様される用語、フレーズ、構文に慣れる。
我流の英語は書かない。

発表論文の英語をまねることから始める
(コピー禁止、出版社はiThenticateでチェックする)

参考になる文章を論文から書き写す

定型的な英語表現の引き出しを増やす

英語で論文を書く（2）

英文が良いからといって論文はAcceptされない！
データのクオリティーが何よりも重要



査読に耐えるレベルの英語力は
研究者にとって必須の能力
Scienceが良くても損をする

英語で論文を書く（3）

論文を審査するReviewerの視点をもって書く
論理の構造が明瞭であり、読んでストーリーが素直
に理解できる
どの点に新規性があるか明確であること
(**stereotype**な実験が一通り行ってあるだけの論文
は印象が良くない)

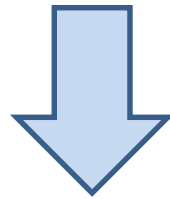
投稿前の英文校正サービスによるチェックは必須
校正に送る時点で、英語の完成度をできる限り高め
ておく（校正の質に影響する）

執筆のポイント（１）

1. タイトルが論文内容を正確に表現しているか
重要なキーワードが入っているか
2. “新規性” が明確であるか
3. 論理的に展開されているか
4. 冗長な表現をしない
特にIntroduction, Discussion間で同じ内容を繰り返さない

執筆のポイント（２）

論文の主旨を納得してもらうために必要な
Figure やTableをまず考え、作成する
(Supplementary FigureやTableも)



足りないFigure（データ）に気づいたら、
さらに実験を継続
(stereotypeな実験の流れになっていないか)

執筆のポイント（3）

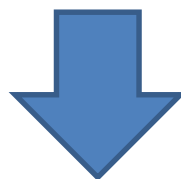
Figure, Tableができたなら、まずResultセクションにおいて研究成果を提示する流れから考えて執筆する

最初からすべて英語で書く

日本語を書いて英語に翻訳して
いては、良い英語論文にはならない

統計解析 *Statistics*

統計の専門家にみてもらう



統計学で重要なことは

解析をいかに示すかより、適切な研究デザイン

研究の初期段階で経験のある生物統計家に
相談し、適切な研究デザインを得るのがベスト

注意ポイント

論文内で同じ内容を繰り返さない！

IntroductionとDiscussion、 或いは
ResultsとDiscussionで、 同じことを
繰り返す原稿がしばしばみられる

Introduction と Discussion

Introduction: 対象とする疾患、現象、分子など
背景情報を提供し、この研究を進める
意義・必要性を述べる

Discussion: 既報の知見との関連性や対比を交え
今回得られた成果の意義・新規性を論じる
研究のさらなる深化の方向性、応用の可能性
などについて述べる
今回の研究の限界についても述べる

Results と Discussion

Results: 当該研究を遂行することで新たに得られたエビデンスを、論旨に沿って分かり易く提示する

Discussion: 当該研究の成果のサマリーでは無い点に注意！
新規性を強調したいあまり、Resultsで得られた事実を超えたDiscussionはしない

(Commentの例) There is a lot of nice data in this paper but the authors have definitely stretched to try to achieve novelty.

念のため

Plagiarism（他者の論文からの剽窃）や、許容されないtext recycling（自分の過去の論文の文章の再利用）に当たる部分が無いことを、iThenticateなどのサービスを用いてかならず確認する

最後に、英文校正サービスに依頼をして、 ブラッシュアップ

- 著名な出版社の提供からフリーランスまで、玉石混交の感は否めない。情報を集めて、信頼度の高いサービスを提供するところ選ぶ
- 校正に送る際はできる限り英語の完成度を高めておく
- 時に文意を取り違えた校正をされる場合もある
変だと感じたら遠慮なく確認を取る

Revisionを返信するとき.....

1. すべての質問やコメント一つ一つに誠意をもって応える
2. 攻撃的或いは過度に防衛的な反応は避ける
3. コメントを転記して、その順番どおりに返信する
4. 一つ一つ、どのように対応したかを明記

Editor, 査読者のコメント：返信

5. 提案を取り入れた対応を行わない場合
→理由（科学的に正当な根拠）を明記して
反論
6. 提案された変更全般に同意できない場合
→取り下げて他誌に投稿
7. Rebuttal letter*は重要であるので校正に出す
* 20-30ページに及ぶことがある

Aims and Scopeとは？

Aims and Scope:

ジャーナルの目的

ジャーナルの取り扱い領域・分野

論文種別 (総説, 原著, 症例報告など)

投稿前に必ず目を通し、自身の研究内容とあっているかを確認する

→ 論文内容が素晴らしくとも、Aims and Scope
に合わない論文はRejectされる

(commentの例)

The reviewer has found that although your contribution describes sound science and is published in principle, but

the findings were not sufficient for urgent publications and would not be unduly damaged by the usual six-month publication delays of regular periodical.

投稿先ジャーナルの選定

内容に沿ったジャーナルを選択することが大切

1. **Aims and Scope**を読む
2. 投稿規程を読む
3. どの**Index& Abstract** サービスに収録されているか
4. どれだけ広く読まれているか
5. オープンアクセス出版か否か

Predatory Journal List に載っていないかチェック
(ハゲタカ出版社のジャーナルを避ける)

Cancer Scienceは....

- 創刊111周年
- **Impact Factor: 4.372**
(Oncology分野 65位/222誌)
- 投稿受理～初回判定： 18日 (原著の場合)
- オープンアクセス誌
(出版と同時に誰でも無料でフルテキスト閲覧)
- 年間のフルテキストダウンロード数: >1,000,000

The most cited
cancer journal from
Asia



投稿数・採択数: *Cancer Science*

2015-2017

	2015	% Acceptance rate	2016	% Acceptance rate	2017	% Acceptance rate
Total Submission	957	-	1130	-	1353	-
Accepted	229	24 %	266	24%	321	16%
Accepted (日本論文)	162	44%	203	52%	199	50%
Accepted (外国論文)	67	12%	63	9%	122	12%
Reject/expired/pending/ lapsed	728	76 %	864	76%	1032	84%

投稿～First decisionにかかる日数: **Original Article**では...

	2015	2016	2017	2018
Submission to first decision	22日	21日	20日	18日

投稿規程とは？

ジャーナルごとに投稿規程がある
→ 最新の投稿規程を入手しましょう

投稿規程に書かれていること：
論文執筆に必要な情報
別刷り
出版費用
オプションサービス

著者が利用できるサービスは・・・
(一部有料)

- **Color on Web**
- **無料PDF offprint**
- **Offprint** (冊子別刷り、有料)
- **Author Service**
- **Accepted Article**
- **Early View**
- **オープンアクセス出版** (有料)

Cancer Scienceの最新の投稿規程はジャーナルHP
(右記QR codeより)



著作権ライセンス：オープンアクセスの場合

	非オープンアクセスジャーナル	オープンアクセス (CC-BY-NC の場合)	オープンアクセス (CC-BY-NC-ND の場合)
著作権書類	出版社指定の書類	CC-BY-NC	CC-BY-NC-ND
論文の著作権	学協会や出版社	著者	著者
論文へのアクセス	フルテキスト閲覧は有料	出版と同時に、誰でも無料でフルテキスト閲覧可	左に同じ
論文の再利用	制限あり（著者本人以外の利用では常に転載許諾が必要）	制限あり(<u>非営利目的での利用に限定して</u> 、オリジナル論文をサイトすれば、誰でも自由に改変・複製・利用可)	制限あり(<u>非営利目的および改変（翻訳含む）なしでの利用に限定して</u> 、オリジナル論文をサイトすれば、誰でも自由に複製・利用可)

論文作成 : Covering letterの準備

- *Cancer Science*への掲載を希望して投稿
学会やシンポジウムのプロシーディングスで抄録発表された以外に、他のジャーナルに掲載済み、あるいは投稿中でないこと
- すべての著者が貢献し、論文内容に同意
- corresponding authorの連絡先
- 転載がある場合は、許可取得の有無
- The salient and novel findings of the paper in a concise paragraph.
- 掲載分野 (ジャーナルが指定する9分野より選択)
- 文字数制限を超えている場合、その理由
- Case Reportsにおいては、informed consentの有無

利益相反 *Disclosure Conflict of Interest*

*Cancer Science*では、全論文において、責任著者のみならず**全ての著者**について、過去3年間の利益相反の開示を求めています

開示条件：

1. Employment/Leadership position/Advisory role (JPY1,000,000 /US\$10,000 or more)
2. Stock ownership
(Profit of JPY1,000,000/US\$10,000 or more/ownership of 5% or more of total shares)
3. Patent royalties/licensing fees (JPY1,000,000/US\$10,000 or more)
4. Honoraria (e.g. lecture fees) (JPY500,000/US\$5,000 or more)
5. Fees for promotional materials (e.g. manuscript fee) (JPY500,000/US\$5,000 or more)
6. Research funding (1,000,000 yen / US\$10,000 or more)
7. Others (e.g. trips, travel, or gifts, which are not related to research)
(JPY50,000/US\$500 or more)

また、臨床研究には、追加の開示事項があります(ガイドライン参照のこと)

Cancer Science 独自の利益相反ガイドラインと投稿時提出フォームがあります (投稿規定内、Disclosure、右記QR codeより)



出版倫理の遵守 *Publication Ethics*

出版倫理に反した論文が増加

→ 論文のRetraction, 所属機関での処分などキャリアを失うことも...

- 二重投稿
- 二重出版
- 盗作
- データ捏造・改ざん
- 著作権侵害

出版倫理に関する情報はCOPEウェブサイトへ

Committee on Publication Ethics (COPE)
<http://publicationethics.org/>

*Cancer Science*では、悪質なケースが発覚した場合には著者の所属機関への連絡と調査依頼、一定期間の投稿禁止措置をとります（詳細は、投稿規程の*Duplicate Publication and Scientific Fraud*）

参考文献

Author Services

<http://authorservices.wiley.com/>

Author Services

Author Services Menu

- Home
- Authors
- Reviewers
- Help

My Dashboard

- Sign In or Register
- My Publications
- Order OnlineOpen

Welcome



Information for **Authors** [Reviewers](#)

Webinars

wileyauthors.com/webinars

- Introduction to Publishing for Early Career Researchers
- What Makes a Good Abstract and More...
- Your Route to Open Access: 5 steps to success
- AGU Author Webinar: How to Publish you Research

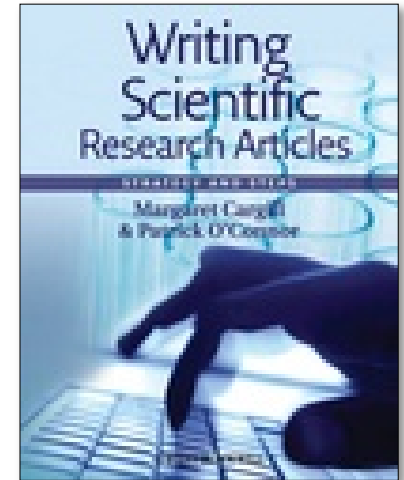
参考文献

Writing a Paper by George Whitesides,
Advanced Materials (available on
<http://materialsviewschina.cn>)

***Writing Scientific Research Articles:
Strategy and Steps*** by Margaret Cargill,
Patrick O'Connor, April 2009

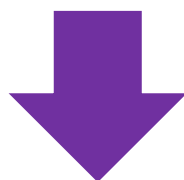
How to Write a Paper, 5th Edition edited by
George M. Hall (Editor), October 2012

***Uniform Requirements for Manuscripts
Submitted to Biomedical Journals*** by
ICMJE, December 2015 (<http://www.icmje.org/icmje-recommendations.pdf>)



若手研究者を対象とした論文賞

Cancer Science Young Scientists Award



- 論文投稿時35歳以下の著者が対象
- 昨年度表彰分より日本人著者も対象

Cancer
Science

Young
Scientists
Award

日本人論文賞

2016年表彰分より
日本人も対象に!



論文投稿募集中

応募資格

- 2015年4月以降の出版論文
- 投稿時35歳以下の著者

表彰

- JCAにて受賞論文の発表及び表彰
- Wiley書籍\$150相当を贈呈

Appendix

補足資料として
*Cancer Science*およびワイリーから提供されるものです

- ✓ 論文執筆にあたり確認しておくべきこと
- ✓ オンライン出版時代に
自分の論文を検索上位にするための工夫
- ✓ ***Cancer Science***より

論文執筆にあたり確認しておくべきこと

- Authorshipについて
- 臨床治験登録 Clinical Trial Registry
- 図表
- 倫理 Research Integrity
- 出版倫理の遵守 Publication Ethics
- 統計解析
- オープンアクセスの著作権ライセンス
- 英文校正サービス

Authorshipについて

Defining the Role of Authors and Contributors

2. Who Is an Author?

The ICMJE recommends that authorship be based on the following 4 criteria:

- Substantial contributions to the conception or design of the work; or the acquisition, analysis, or interpretation of data for the work; AND
- Drafting the work or revising it critically for important intellectual content; AND
- Final approval of the version to be published; AND
- Agreement to be accountable for all aspects of the work in ensuring that questions related to the accuracy or integrity of any part of the work are appropriately investigated and resolved.

International Committee of Medical Journal Editors (ICMJE)
Recommendations for the Conduct, Reporting, Editing, and Publication
of Scholarly Work in Medical Journals, *Updated December 2017* より抜粋

Authorshipについて

著者とは

前スライドの4条件全てを満たす者のみ

❖ Gift authorは×

(Acknowledgementに謝辞として記載)

❖ 投稿後の著者の追加、削除は×

Authorshipの問題で取り下げとなる論文が
増加中

臨床治験登録 Clinical Trial Registry

- ヒト対象の臨床治験*および医学系研究では国内のデータベースへの登録義務あり

* 薬物動態や毒性に関するものは免除

- 患者登録開始前あるいは開始時に登録

- 代表的な登録機関

日本： University hospital Medical
Information Network (UMIN)
(<http://www.umin.ac.jp/ctr/>)

米国： National Library of Medicine
(<http://www.clinicaltrials.gov>)

- 論文にも機関名と登録番号を記載する

図表 Figures & Tables

- 図表・グラフ作成ソフトウェア
Illustrator, Photoshop, Word, Excelなど
- 写真
コントラストを調整したり、レタッチを施すのはやめる
 - データ捏造の嫌疑がかかる可能性
- Power Pointで作成された図表
他の書式(TIF, EPS*など)に変換保存するとき上下左右にランダムにフリップしたり、線などが消失
 - 変換後の内容がオリジナルと同じであるか著者責任で確認すること

*採択後、出版製作用にこれらの書式のファイルが求められます

倫理 Research Integrity

- 被験者へのInformed Consent
- 実験動物への倫理的配慮
- 臨床研究における倫理委員会の承認
- Authorship: Equal contribution および 論文内容への全著者の同意
- 利益相反(COI)の開示
 - 利益相反は開示することに意味がある
 - 「迷ったら開示」、COIないときは「なし」と記載
- 本誌のみに投稿、未発表の論文である
- 転載許可取得の有無

カバーレターや本文に記載 → 投稿規定で確認

出版倫理の遵守 *Publication Ethics*

出版倫理に反した論文の増加

バシたらretractionすればいいという安易な考え

→ 所属機関での処分などキャリアを失うことも...

- 共著者の同意がない
- 二重投稿
- 二重出版
- データ捏造・改ざん
- 著作権侵害
- 盗作

Cancer Science

SimilarityCheckで

他論文との

重複状況をチェック

出版倫理に関する情報はCOPEウェブサイトへ
Committee on Publication Ethics (COPE)
<http://publicationethics.org/>

噂はネット上ですぐに広まる:
取り下げ論文情報ブログの存在
Retraction Watch
<http://retractionwatch.wordpress.com/>

英文校正サービス

Wiley Editing Service (<http://wileyeditingservices.com/en/>)

WILEY

Upload your Manuscript →

Services

Prices

Certificate Program

FAQs

Testimonials

Let your research do the talking

There should be no barriers to getting your research published, yet we know that manuscripts are often returned for English language and formatting issues.

Let Wiley Editing Services provide you with expert help to ensure your manuscript is ready for submission.



English Language Editing



Translation Service



Manuscript Formatting



Figure Preparation

オンライン出版で
自分の論文を検索上位にするための
著者による工夫

検索でヒットする論文にする重要性

著者の工夫によって、

検索されやすく、

アクセスを増やし、

論文が長期にわたって読まれ、また引用される
可能性を高める

ことができます。

論文タイトル・抄録・キーワード

論文を検索上位にヒットさせるコツ

- 論文タイトルは、内容を具体的に表現し主題に関するキーワードを含める
- **Abstract**（抄録）にキーワードをうまく配置
- キーワードは少なくとも**5**つ設定
- 著者名の表記に一貫性を持たせる
- 見出しを活用する
- 自分や共著者の過去の論文を引用

SEOに成功したabstractの例 – ここが注目ポイント

表題に主要なキーワードが含まれている

Ocean Acidification and Its Potential Effects on Marine Ecosystems

Keywords

ocean acidification, climate change; carbonate saturation state; seawater chemistry; marine ecosystems; anthropogenic CO₂

検索ワードに使われやすいキーワードが設定されている

Abstract

Ocean acidification is rapidly changing the carbonate system of the world oceans. Past mass extinction events have been linked to ocean acidification, and the current rate of change in seawater chemistry is unprecedented. Evidence suggests that these changes will have significant consequences for marine taxa, particularly those that build skeletons, shells, and tests of biogenic calcium carbonate. Potential changes in species distributions and abundances could propagate through multiple trophic levels of marine food webs, though research into the long-term ecosystem impacts of ocean acidification is in its infancy. This review attempts to provide a general synthesis of known and/or hypothesized biological and ecosystem responses to increasing ocean acidification. Marine taxa covered in this review include tropical reef-building corals, cold-water corals, crustose coralline algae, *Halimeda*, benthic mollusks, echinoderms, coccolithophores, foraminifera, pteropods, seagrasses, jellyfishes, and fishes. The risk of irreversible ecosystem changes due to ocean acidification should enlighten the ongoing CO₂ emissions debate and make it clear that the human dependence on fossil fuels must end quickly. Political will and significant large-scale investment in clean-energy technologies are essential if we are to avoid the most damaging effects of human-induced climate change, including ocean acidification.

Abstract全体を通して、キーワードが文脈に沿って自然に、繰り返し盛り込まれている

SEO = Search Engine Optimization

著者による論文の セルフプロモーション

論文へのリンクをシェアする

Original Article

Personalized peptide vaccination for cervical cancer patients who have received prior platinum-based chemotherapy

Kouichiro Kawano¹, Naotake Tsuda¹, Kayoko Waki², Satoko Matsueda³, Yoshiro Hata³, Kimio Ushijima¹, Kyogo Itoh³, Akira Yamada^{2,*} and Toshiharu Kamura^{1,†}

Article first published online: 22 JUL 2015

DOI: 10.1111/cas.12729

© 2015 The Authors. Cancer Science published by Wiley Publishing Asia Pty Ltd on behalf of Japanese Cancer Association.

This is an open access article under the terms of the [Creative Commons Attribution-NonCommercial License](#), which permits use,

Issue



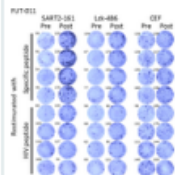
Cancer Science
Volume 106, Issue
1111–1117, Septem

E-mail

E-mail a Wiley Online Library Link

Kouichiro Kawano, Naotake Tsuda, Kayoko Waki, Satoko Matsueda, Yoshiro Hata, Kimio Ushijima, Kyogo Itoh, Akira Yamada and Toshiharu Kamura Personalized peptide vaccination for cervical cancer patients who have received prior platinum-based chemotherapy Cancer Science 108

Article first published online: 22 JUL 2015 | DOI: 10.1111/cas.12729



Twenty-four patients with advanced cervical cancer were enrolled in this study. Because of the safety, immunological efficacy, favorable clinical responses, and possible prolongation of OS, this vaccine is feasible for further development.

Complete the form below and we will send an e-mail message containing a link to the selected article on your behalf

*= Required Field

Your Name: *

Your E-mail: *

Recipient's E-mail *

Enter the text you see here: *

ARTICLE TOOLS

- Get PDF (191K)
- Save to My Profile
- E-mail Link to this Article
- Export Citation for this Article
- Get Citation Alerts
- Request Permissions

Share

- Digg
- Diigo
- StumbleUpon
- ResearchGate
- Reddit

サインイン

AddThis

プライバシー

SNSやブログの利用

自分の論文についての情報を潜在的な読者と共有する

- Mendeley
- ResearchGate
- ReadCube
- Kudos
- Facebook / Twitter / LinkedIn
- 自分が投稿できるブログやウェブサイト

***Cancer Science*より**

Android, iPhone & iPad向け アプリ無料配信中

アプリは無料
論文も無料閲覧



ダウンロード

www.wileyonlinelibrary.com/journal/cas

Download the Free App on your iPhone/iPad or Android today!

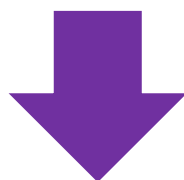


New!



若手研究者を対象とした論文賞

Cancer Science Young Scientists Award



論文投稿時35歳以下の著者が対象
日本人著者も対象

Cancer Science

Young Scientists Award
日本人論文賞

2016年表彰分より
2名追加!

論文投稿募集中
応募資格

- 2015年4月以降の出版論文
- 投稿時35歳以下の著者